

出題分析			
試験時間 90 分	配点 ※	大問数 6 題	
分量（昨年比較）〔減少 <span style="border: 1px solid black;">同程度</span> 増加〕	難易度変化（昨年比較）〔易化 <span style="border: 1px solid black;">同程度</span> 難化〕		
<b>【概評】</b> 関西学院大学の英語の大問構成は、長文読解 3 つ、文法・語法、和文対照英文整序、会話文空所補充（全 6 題）という形に落ち着いており、今年もその構成が踏襲されている。長文読解、文法・語法、会話文、いずれも難解な問題は見当たらないが、時間に余裕はなく、すべて解き切るには相当の訓練が必要になる。まずは正確な文法・語法の知識が全ての基礎となる。			

※ 学部・型・方式により、配点が異なる。詳細は入試要項を参照。

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	長文読解 「プラシーボ効果」 ○語数：649 語 (昨年) 674 語	科学研究において、関わる人の主観が試行結果に影響を与える「プラシーボ効果」とそれを排除する必要性について述べた文章。A の空所補充(3)では、直前の the children will expect ~に整合する c. so を入れる。B の同義語句選択 (オ) <b>chairing the committee</b> は「委員会の議長を務める」の意。	標準
II	長文読解 「岐路に立たされている伝染病対策」 ○語数：449 語 (昨年) 481 語	抗菌薬は医療の進歩に不可欠だが、耐性を持つ菌が増えており、伝染病対策が岐路に立たされているという文章。A の空所補充(4)は、 <b>interfere with</b> ~という語法を知っておきたい。B の同義語句選択の (イ) は、 <b>crossroads</b> 「岐路」の意味がカギ。	標準
III	長文読解 「ヒューマノイドの外見の重要性」 ○語数：428 語 (昨年) 383 語	人間と共に働くロボットの外見をある程度人間に似せるべき理由について述べた文章。B の同義語句選択 (イ) では節の間のカンマが省略されているが、if formed ~ components が従属節で、それ以降が主節。(ウ) は、否定語(nowhere)+原級(so ~ as...)で最上級相当表現になっている。	標準
IV	文法・語法	(1)は if 節が〈条件〉を表す副詞節なので、未来の内容でも現在形で表す。(4)は children を後置修飾する過去分詞形 b. brought up が正解。空所直後が by であることがヒントになる。(10)は prevent O from V-ing 「O が V するのを妨げる」の受身形。	やや易

設問別講評			
V	和文対照英文整序	いずれも標準的な文法・熟語の知識があれば解ける。(2)では apologize の語法, (3)では if が無い仮定法の作り方, (4)では「定期的に運動をしないと」を名詞句で表現できるか, がポイントである。	標準
VI	会話文空所補充 「計画を立てれば安心」 ○語数: 275 語 (昨年) 260 語	買い物から不機嫌で帰宅した Sara に対し, Shota が質問を重ねることで生活リズムや時間管理の重要性に気づかせる会話。(7)の met は meet deadlines「締め切りを守る」という頻出の定型表現。(8)の at a time は one step at a time「一歩ずつ着実に」という慣用句で, 直後の and after I finish each one, ...という文脈と合致する。	標準

設問構成 (設問数・形式・内容)							
大問番号	設問数	選択式					
		空所補充	同義選択	質疑応答	内容一致	語句整序	その他
I	3	5	6	3			
II	3	5	3		2/6		
III	3		4・3	2			
IV	1	10					
V	1					5	
VI	1	10					

※「選択式」の欄の数値は, 各設問内の小問数を表す。ただし, 内容一致については, 正答数/選択肢数 を表している。

合格のための学習法
<p>関西学院大の入試で高得点を取るために最も重要なのは, 身につけるのにいちばん時間のかかる英文読解力をつけることである。そのためにはまず1学期のうちに, 暗記ではなく理解を重視した, 英文を読むための文法を身につけよう。同時に毎日こつこつ辞書を使って時間をかけて英文を読む生活を始めよう。スピードを気にすると英文読解は身につかない。もちろん市販の単語帳を使って毎日単語・熟語を覚えたり, 過去問などを通して文法問題や語句整序, 会話文など, 関学が出題する多様な問題形式に慣れたりすることも重要だ。しかし英語の勉強時間の大半を英文読解にかけてほしい。英文読解への取り組み方が合否を分ける。</p>